

「動物愛護及び管理に関するアンケート調査」調査結果

「山梨県動物愛護管理推進計画」策定にあたり、県民の皆様のペットの飼育状況や飼育に関する意識などを把握し、より一層充実した動物愛護及び管理に関する施策を実施していくため、県政モニターによるアンケート調査を実施しました。

1 アンケート調査の実施時期
平成 19 年 6 月

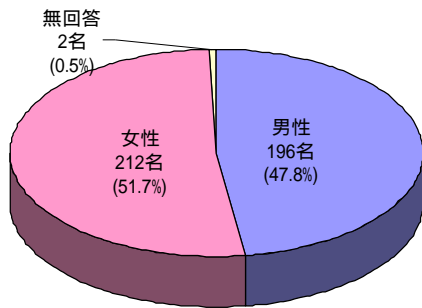
2 県政モニター数

(1)一般モニター(郵送によるアンケート調査)	357 名
(2)インターネットモニター(電子メールによるアンケート調査)	108 名
合計	465 名

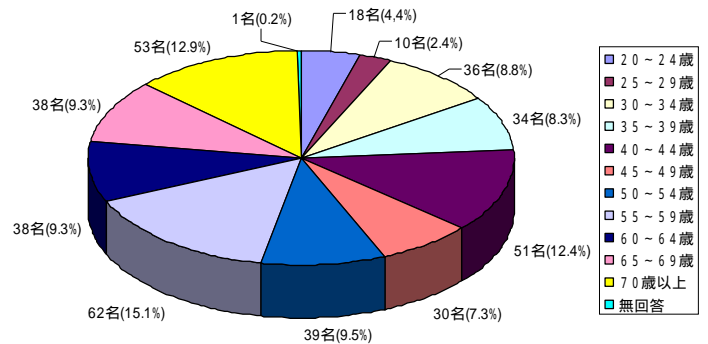
3 回答数

	(回答率)
(1)一般モニター(郵送によるアンケート調査)	323 名(90.5%)
(2)インターネットモニター(電子メールによるアンケート調査)	87 名(80.6%)
合計	410 名(88.2%)

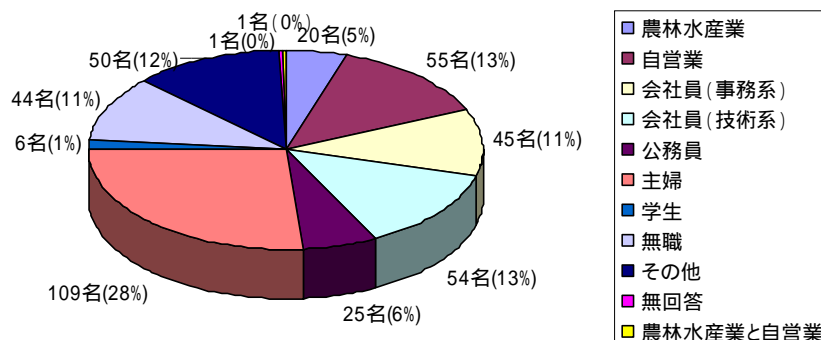
【性別】



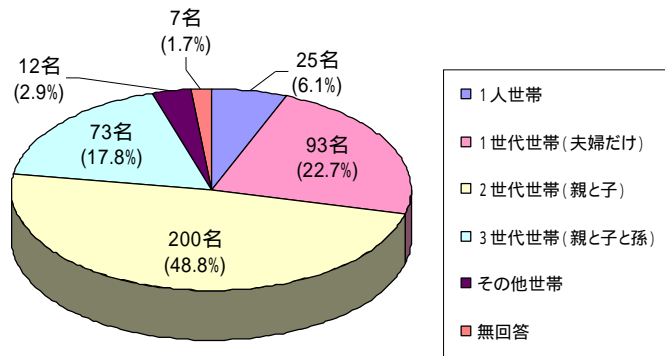
【年齢】



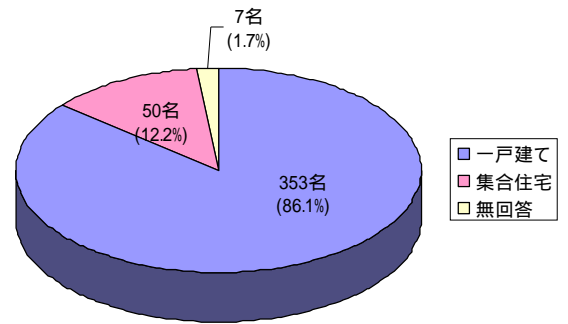
【職業】



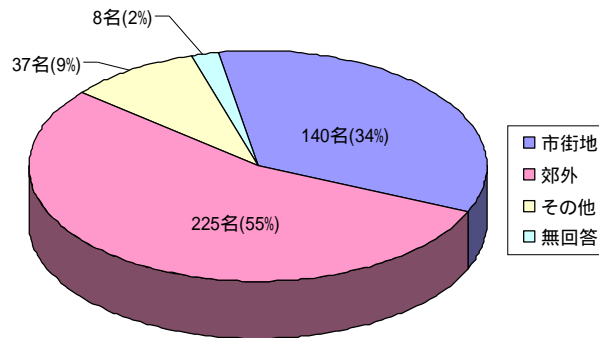
【住宅の形態】



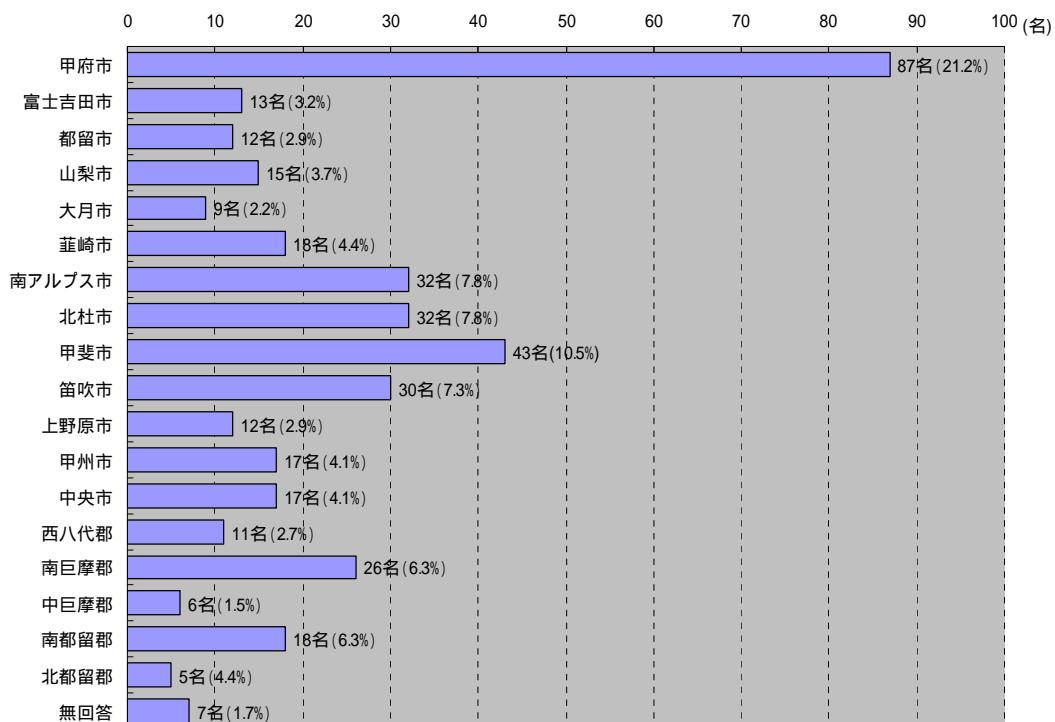
【世帯構成】



【住まいの周辺環境】



【住んでいる地域】

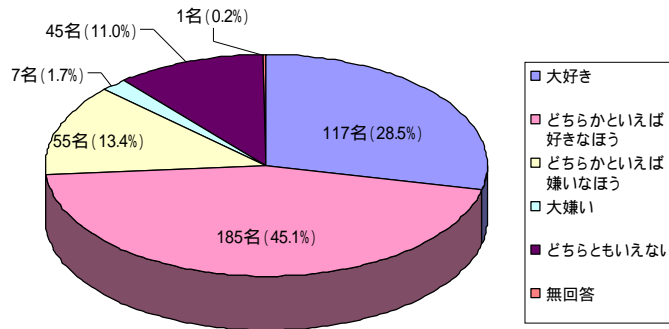


Q1 あなたは動物が好きですか。

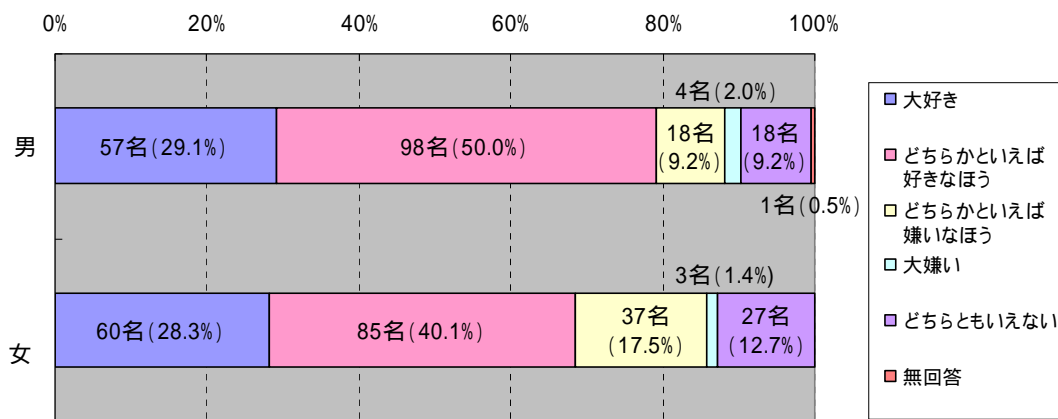
【調査結果】

- ・ 「好き」とする人の割合が302名(73.6%) [「大好き」+「どちらかといえば好きナほう」]、「嫌い」な人の割合が62名(15.1%) [「大嫌い」+「どちらかといえば嫌いなほう」]であった。
- ・ 性別でみると女性より男性の方が「好き」とする人の割合が高くなっている。
- ・ 年齢別でみると、「好き」とする人の割合は20歳代が高く、「嫌い」とする人の割合は、60歳代及び70歳以上で高くなっている。

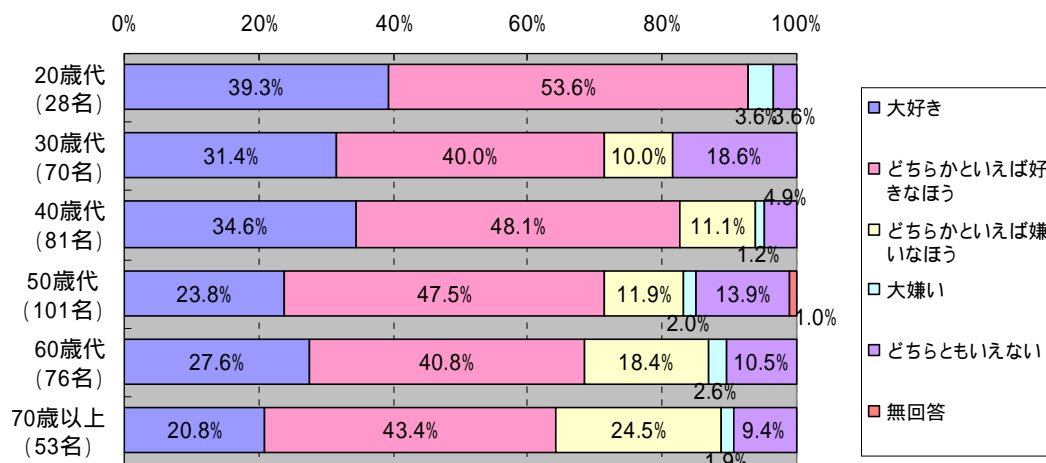
【全体】



【性別クロス分析】



【年齢別クロス分析】

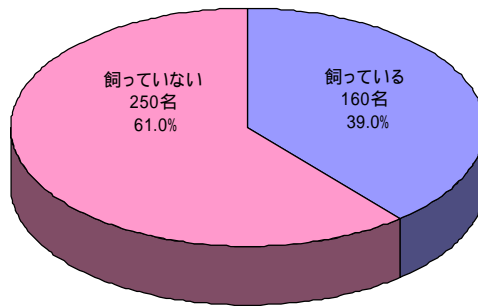


Q2 あなたはペットを飼っていますか。

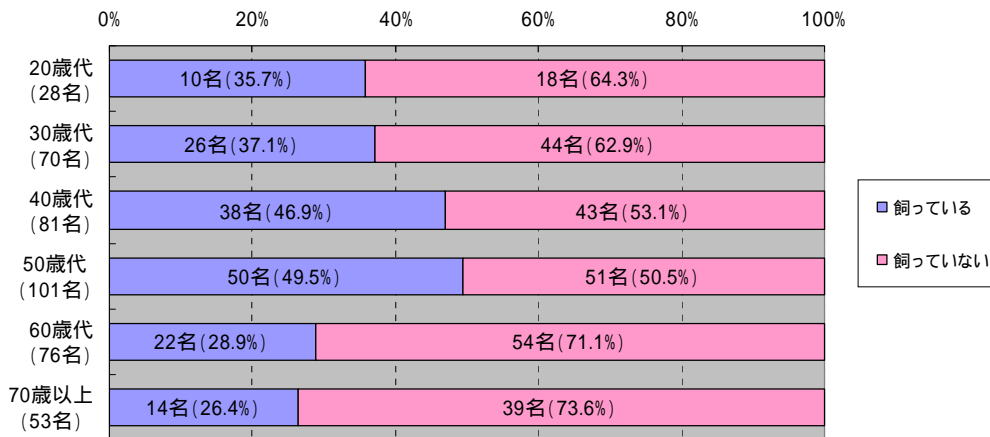
【調査結果】

- ・ 「飼っている」人の割合が 160 名 (39.0%)、「飼っていない」人の割合が 250 名 (61.0%)であった。
- ・ 年齢別でみると、「飼っている」人の割合は 40 歳代で 46.9% (38 名)、50 歳代で 49.5% (50 名)と高く、60 歳代は 28.9% (22 名)、70 歳以上が 26.4% (14 名)と低くなっている。
- ・ 世帯構成別でみると、「飼っている」人の割合は 2 世代世帯が 44.5% (89 名)、3 世代世帯が 42.5% (31 名)で 1 人世帯、1 世代世帯より高くなっている。
- ・ 住宅形態別でみると、「飼っている」人の割合は集合住宅より一戸建てで高くなっている。
- ・ 周辺環境別でみると、「飼っている」人の割合は市街地より郊外で高くなっている。

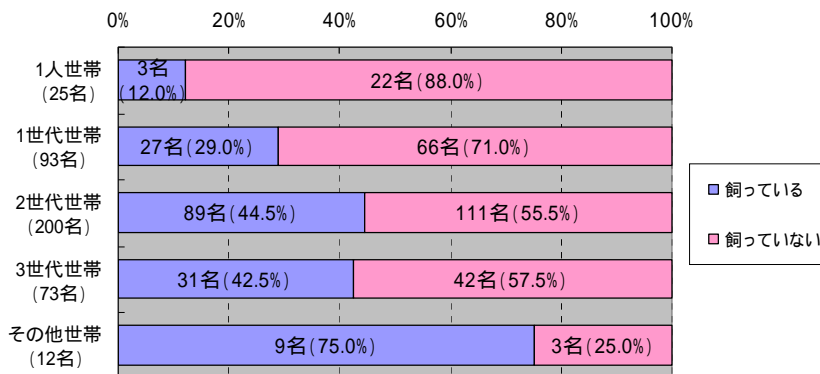
【全体】



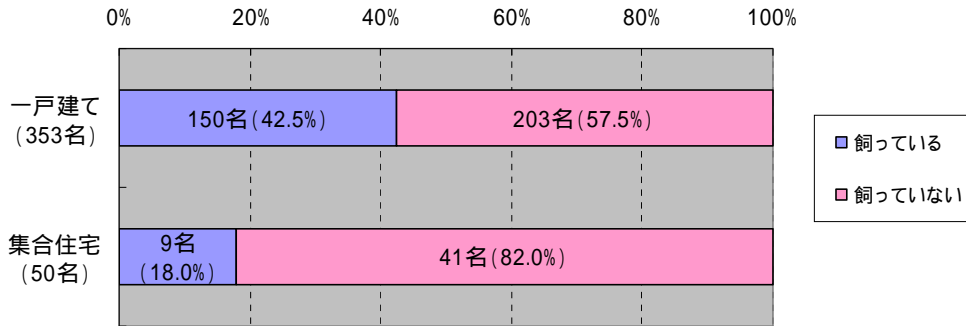
【年齢別クロス集計】



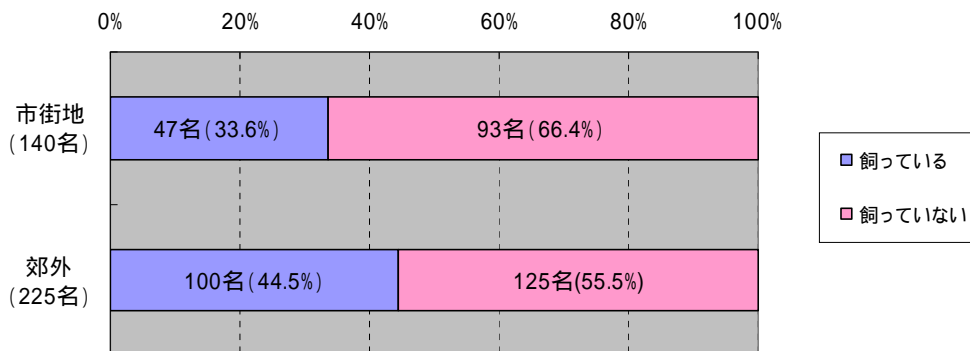
【世帯構成別】



【住宅形態別】



【周辺環境別】

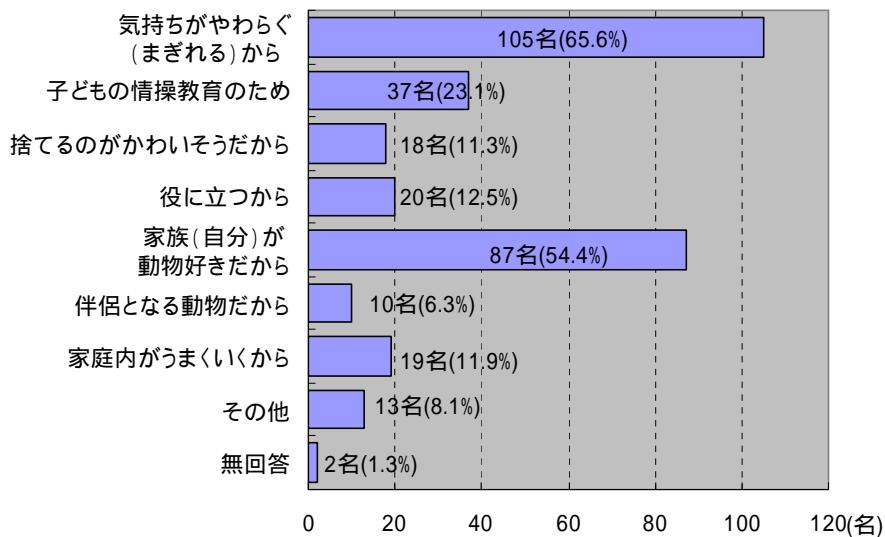


Q3 ペットを飼われている方にお聞きます。
あなたがペットを飼っている理由はなんですか。

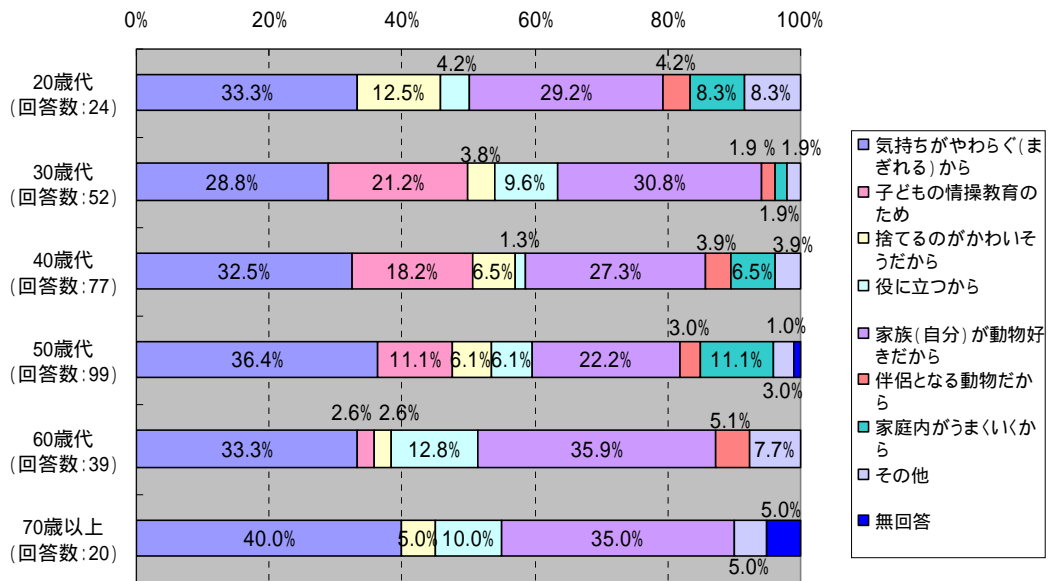
【調査結果】

- ・ ペットを飼っている理由は「気持ちがやわらく(まぎれる)から」が104名(65.0%)、「家族(自分)が動物好きだから」87名(54.4%)が高くなっている。
- ・ 年齢別でみると、各年代で「気持ちがやわらく(まぎれる)から」、「家族(自分)が動物好きだから」が高く、また、「子どもの情操教育のため」は30歳代、40歳代及び50歳代で高くなっている。

【全体】



【年齢別クロス集計】

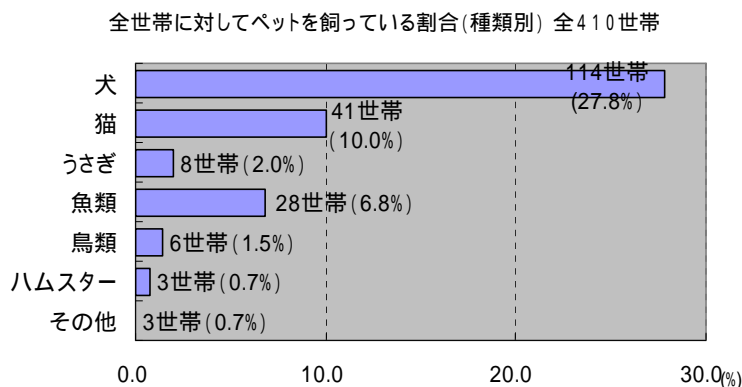
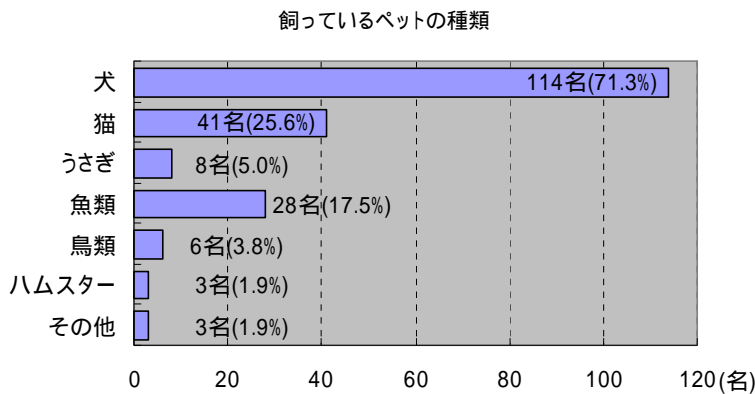


Q4 飼っているペットの種類はなんですか。

【調査結果】

- 飼っているペットの種類は「犬」が114名(71.3%)と最も高く、「猫」が41名(25.6%)、「魚類」が28名(17.5%)の順となっている。
- 全世帯に対し、ペットを飼っている人の割合は、「犬」が27.8%(114世帯)、「猫」が10.0%(41世帯)及び「魚類」が6.8%(28世帯)の順となっている。

【全体】

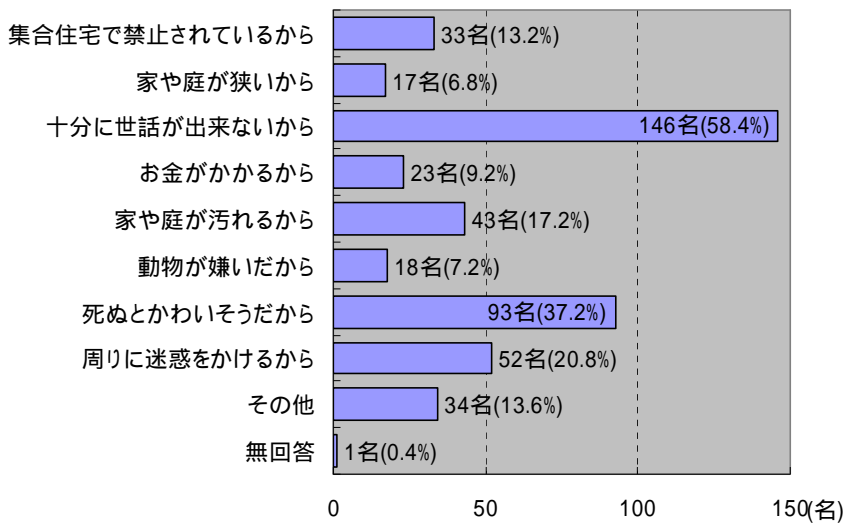


Q5 Q2で「2 ペットを飼っていない」に 印をつけた方にお聞きます。
 ペットを飼わない理由はなんですか。

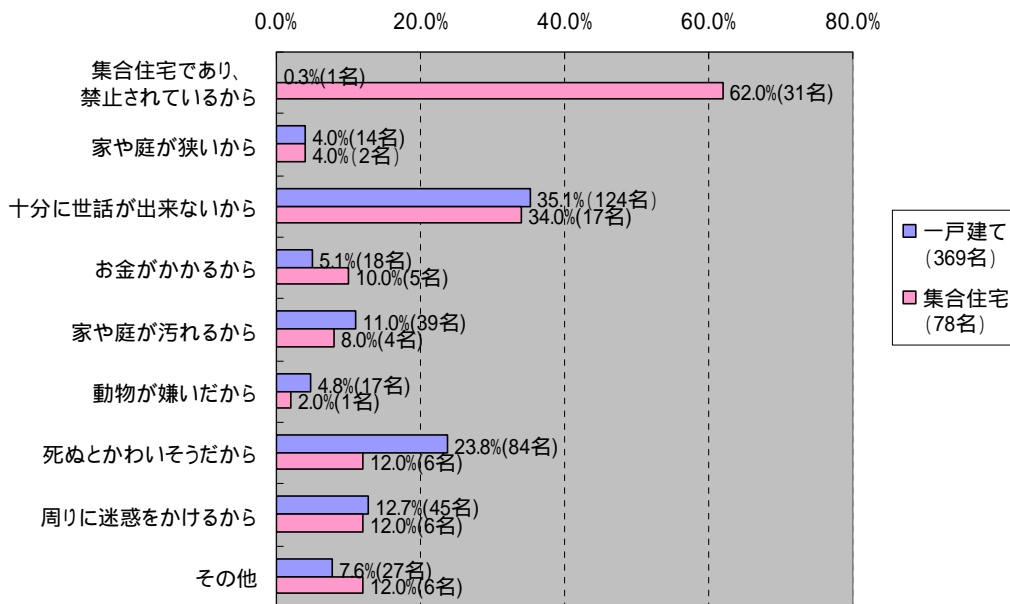
【調査結果】

- ・ 「十分に世話が出来ないから」と答えた人が 146 名 (58.4%)と最も高く、「死ぬとかわいそうだから」が 93 名 (37.2%)、「周りに迷惑をかけるから」が 52 名 (20.8%)、「家や庭が汚れるから」が 43 名 (17.2%)、「集合住宅で禁止されているから」が 33 名 (13.2%)の順となっている。
- ・ 住宅形態別でみると、集合住宅で「禁止されているから」が 31 名 (62.0%)と最も高いのに対し、一戸建てでは「十分に世話が出来ないから」、「死ぬとかわいそうだから」が高くなっている。

【全体】



【住宅形態別クロス集計】

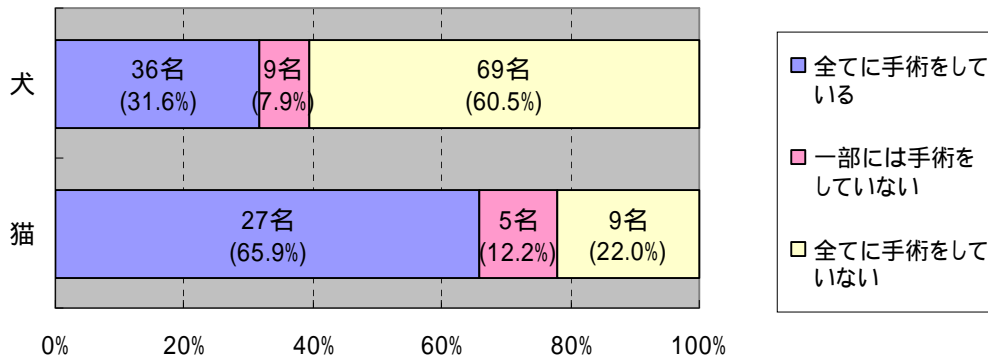


Q6 Q4で「1 犬」または「2 猫」に 印をつけた方にお聞きします。
飼っている犬や猫に不妊・去勢手術をしていますか。

【調査結果】

- 飼っている動物に手術をしている人[「全てに手術をしている」+「一部には手術をしていない」]の割合は、「犬を飼っている」人が 45 名(39.5%)、「猫を飼っている」人が 32 名(78.1%)となっており、「犬を飼っている」人より「猫を飼っている」人の方が高くなっている。

【全体】

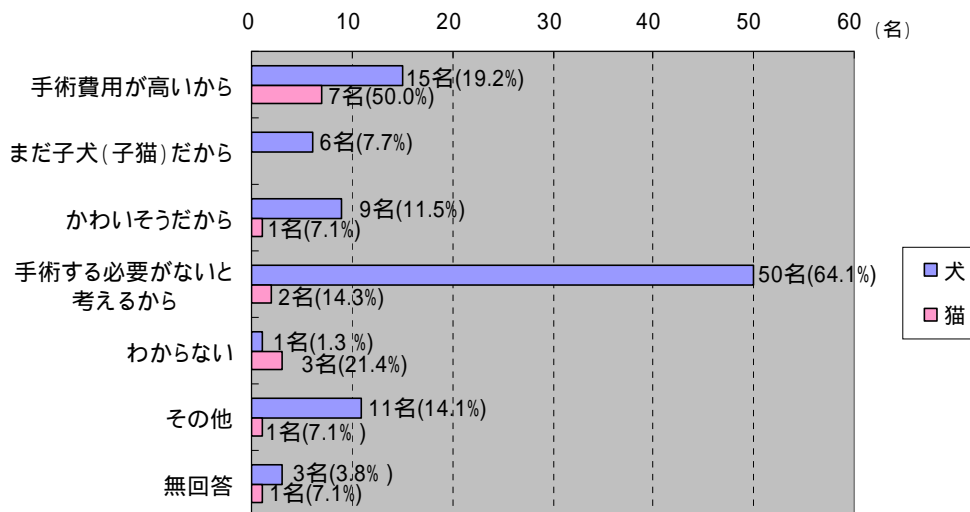


Q7 Q6で「2 一部には手術をしていない」、「3 全てに手術をしていない」に 印をつけた方にお聞きします。手術をしていない理由はなんですか。

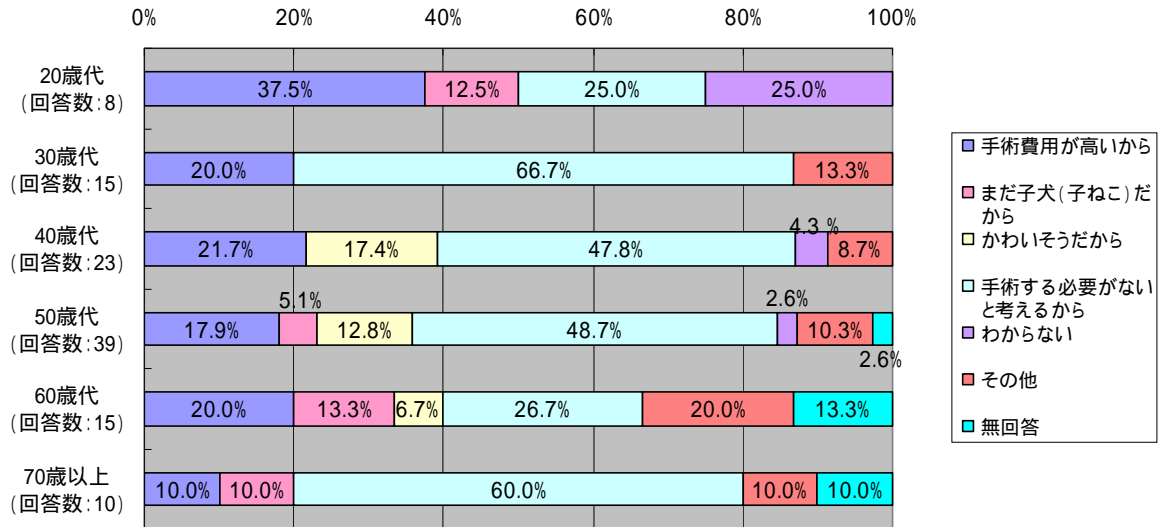
【調査結果】

- 「犬を飼っている」人では、「手術する必要がないと考えるから」が 50 名(64.1%)と最も高く、「手術費用が高いから」が 15 名(19.2%)、「かわいそうだから」が 9 名(11.5%)となっている。
- 「猫を飼っている」人では、「手術費用が高いから」が 7 名(50.0%)と最も高く、「わからない」が 3 名(21.4%)、「手術する必要がないと考えるから」が 2 名(14.3%)となっている。
- 年齢別にみると、20 歳代で「手術費用が高いから」が他の年代に比べ高くなっている。

【全体】



【年齢別クロス集計】

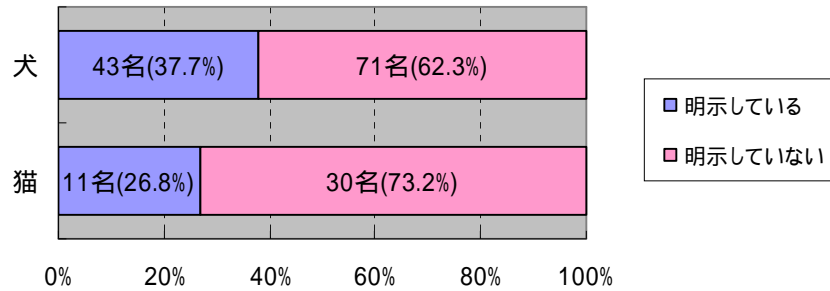


Q8 Q4で「1 犬」または「2 猫」に 印をつけた方にお聞きます。飼っている犬や猫に、あなたの氏名や住所などが分かるように、名札や首輪、マイクロチップなどを装着し、飼い主が誰であるかわかるようにしていますか。

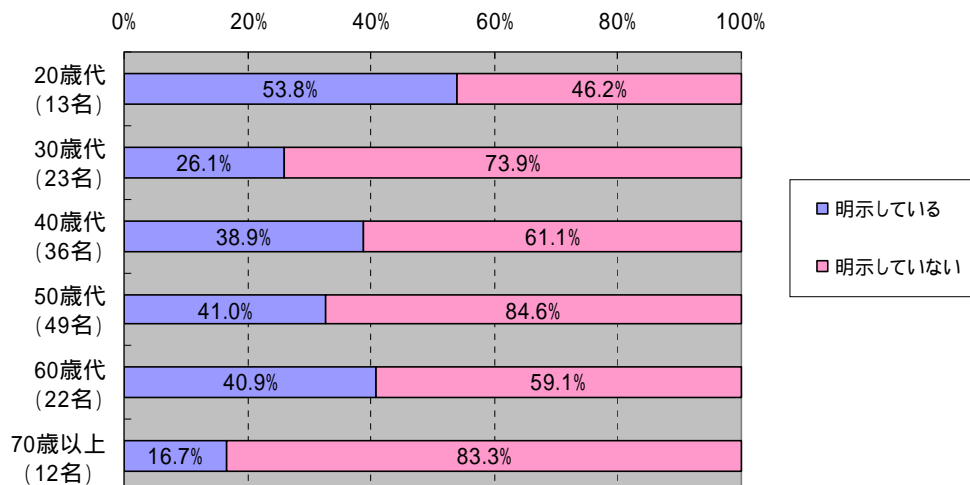
【調査結果】

- ・ 「犬を飼っている」人は 43 名 (37.7%)、「猫を飼っている」人は 11 名 (26.8%) が所有明示をしている。
- ・ 年齢別でみると、「明示している」人の割合は 20 歳代が高く、「明示していない」人の割合は 70 歳代以上で高くなっている。

【全体】



【年齢別クロス集計】

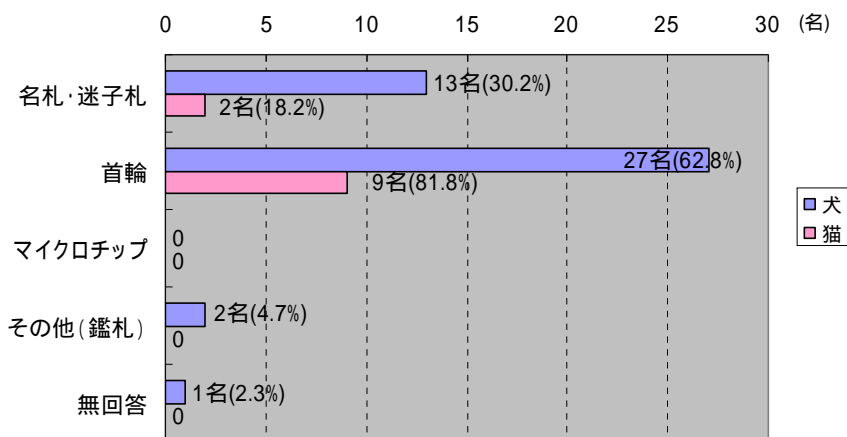


Q9 Q8で「1 明示している」に 印をつけた方にお聞きします。
 どのような方法で明示していますか。

【調査結果】

- ・ 「犬を飼っている」人、「猫を飼っている」人ともに所有明示の方法は「首輪」が最も高く、次に「名札・迷子札」となっている。
- ・ 「マイクロチップ」を使用している人は犬、猫ともにいなかった。

【全体】

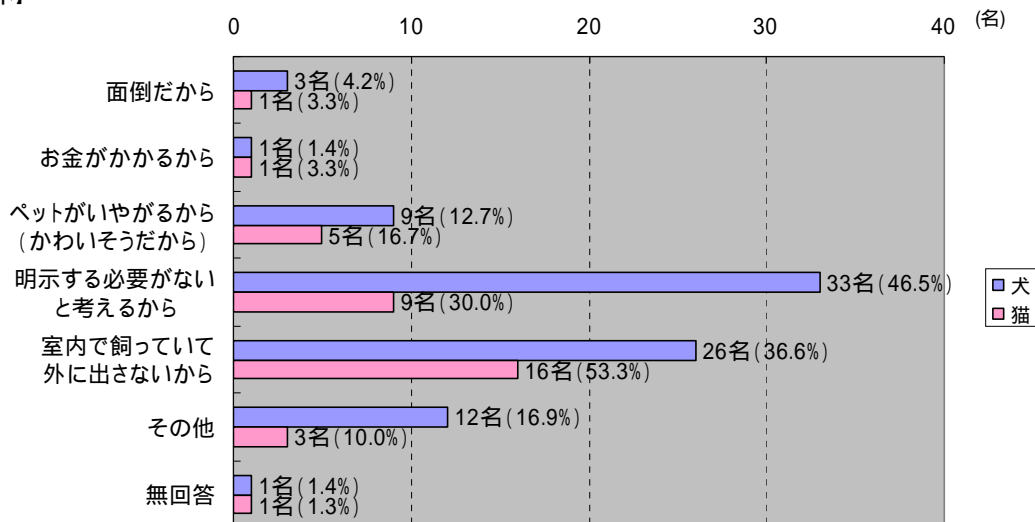


Q10 Q8「2 明示していない」に 印をつけた方にお聞きします。
 明示していない理由はなんですか。

【調査結果】

- ・ 「犬を飼っている」人では、「明示する必要がないと考えるから」が 33 名 (46.5%)と最も高く、次に「室内で飼っていて外に出さないから」が 26 名 (36.6%) の順となっている。
- ・ 「猫を飼っている」人では、「室内で飼っていて外に出さないから」が 16 名 (53.3%)と最も高く、次に「明示する必要がないと考えるから」が 9 名 (30.0%)、「ペットがいやがるから(かわいそうだから)」が 5 名 (16.7%) の順となっている。

【全体】



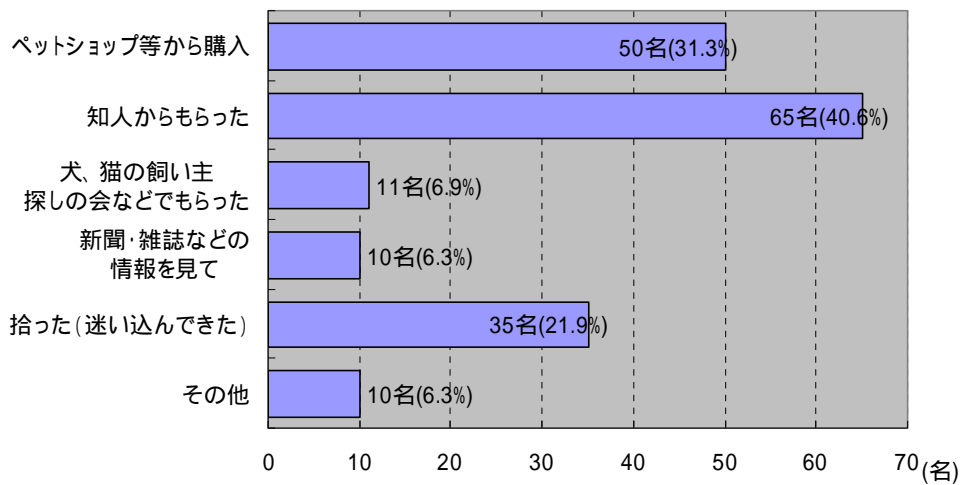
Q11 ペットを飼われている方にお聞きします。

あなたはどのようにしてペットを入手しましたか。

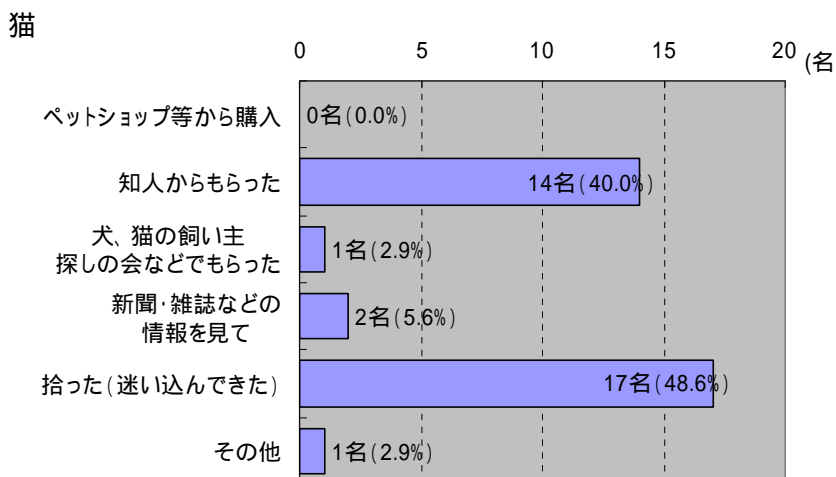
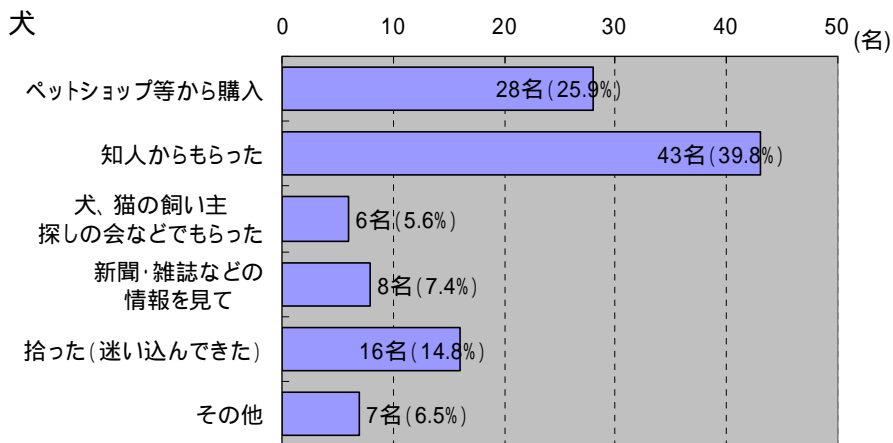
【調査結果】

- ・ 「知人からもらった」が65名(40.6%)と最も高く、次に「ペットショップ等から購入」が50名(31.3%)、「拾った(迷い込んできた)」が35名(21.9%)の順となっている。
- ・ 「犬を飼っている」人では、「知人からもらった」が43名(39.8%)と最も高く、次に「ペットショップ等から購入」が28名(25.9%)、「拾った(迷い込んできた)」が16名(14.8%)の順となっている。
- ・ 「猫を飼っている」人では、「拾った(迷い込んできた)」が17名(48.6%)と最も高く、次に「知人からもらった」が14名(40.0%)の順となっている。

【全体】



【動物種別】

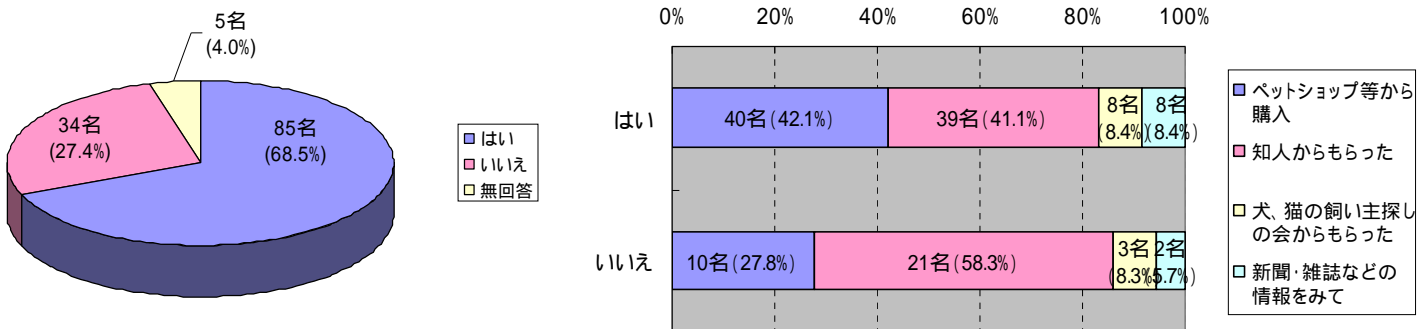


Q12 Q11で「1 ペットショップ等から購入」、「2 知人からもらった」、「3 犬、猫の飼い主探しの会などでもらった」及び「4 新聞・雑誌などの情報を見て」に 印をつけた方にお聞きします。あなたがペットを入手するときに、その動物の性質や飼い方などについての説明を受けましたか。

【調査結果】

- ・ 「説明を受けた」人が 85 名 (68.5%) であり、「説明を受けていない」人は 34 名 (27.4%) であった。
- ・ 事前の説明を受けた人は、「ペットショップ等から購入」が 40 名 (42.1%)、「知人からもらった」が 39 名 (41.1%) とほぼ同じ割合であった。
- ・ 事前の説明を受けなかった人は「知人からもらった」が 21 名 (58.3%) と最も多く、次に「ペットショップ等から購入」が 10 名 (27.8%) であった。

【全体】

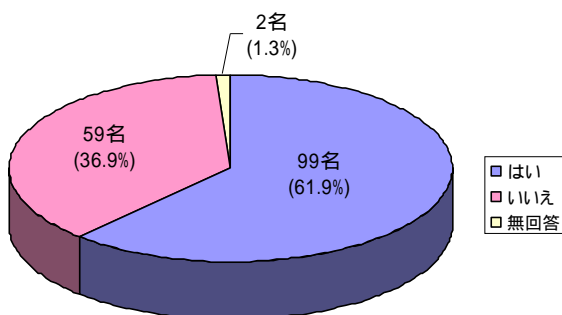


Q13 あなたは、動物(ペット)を飼う前に、その動物の特徴や性質、飼育方法などについて勉強しましたか。

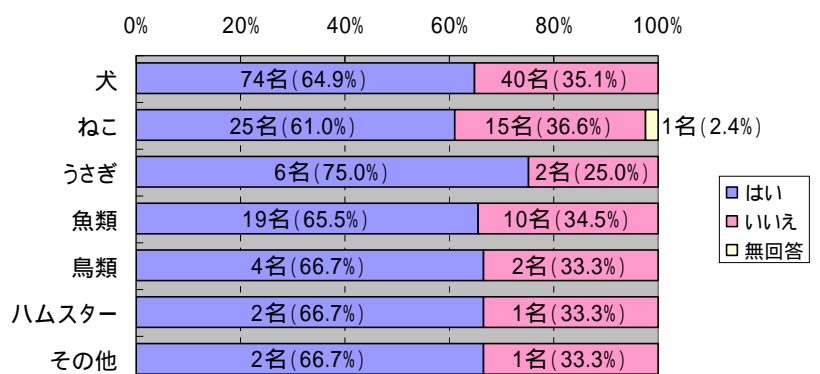
【調査結果】

- ・ 「勉強した」人は 99 名 (61.9%)、「勉強していない」人は 59 名 (36.9%) であった。
- ・ 動物種別でも、全ての動物種で「勉強した」人の割合が 60%を超えていた。

【全体】



【動物種別】

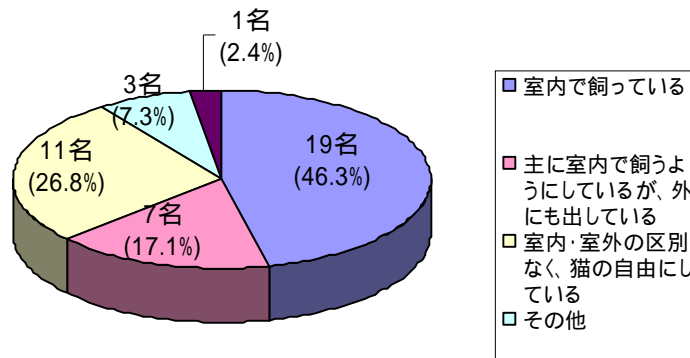


Q14 Q4で「2猫」に印をつけた方にお聞きます。あなたは猫をどのように飼っていますか。この中から1つお答え下さい。

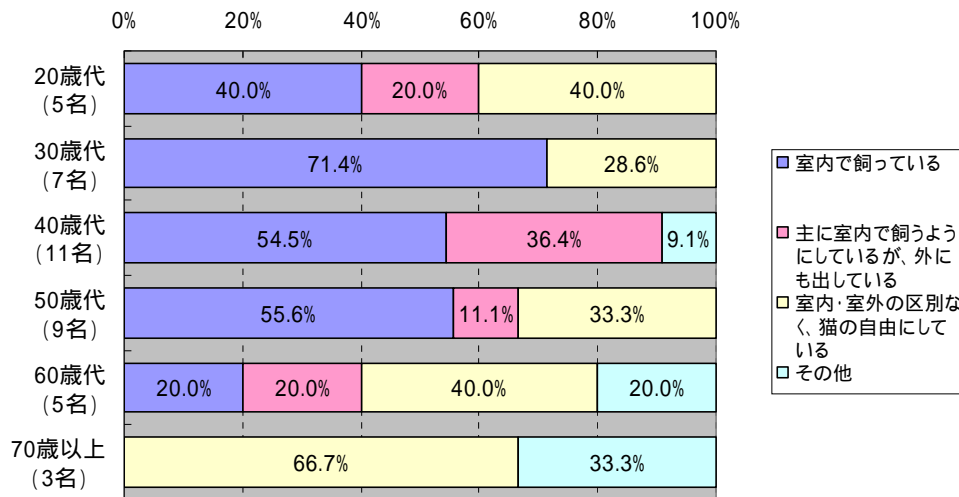
【調査結果】

- ・ 「室内で飼っている」が19名(46.3%)と最も高く、「室内・室外の区別なく、猫の自由にしている」が11名(26.8%)、「主に室内で飼うようにしているが、外にも出している」が7名(17.1%)の順となっている。
- ・ 年齢別でみると、30歳代、40歳代、50歳代は「室内で飼っている」人が半数以上となっており、60歳代、70歳代以上では「室内で飼っている」人の割合は低くなっている。
- ・ 周辺環境別でみると、市街地で「室内で飼っている」が、郊外では「室内・室外の区別なく、猫の自由にしている」が高くなっている。

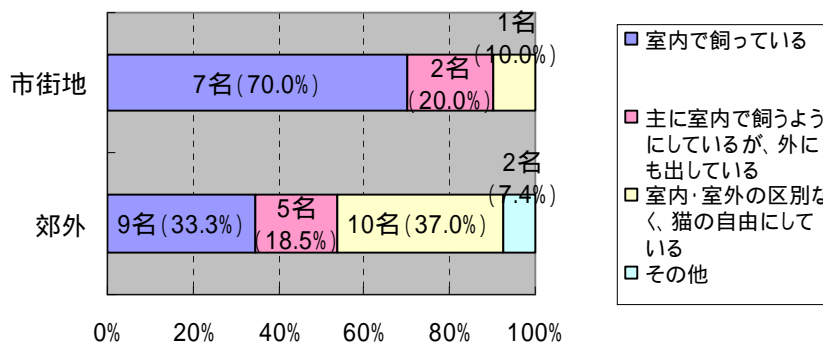
【全体】



【年齢別クロス集計】



【周辺環境別クロス集計】

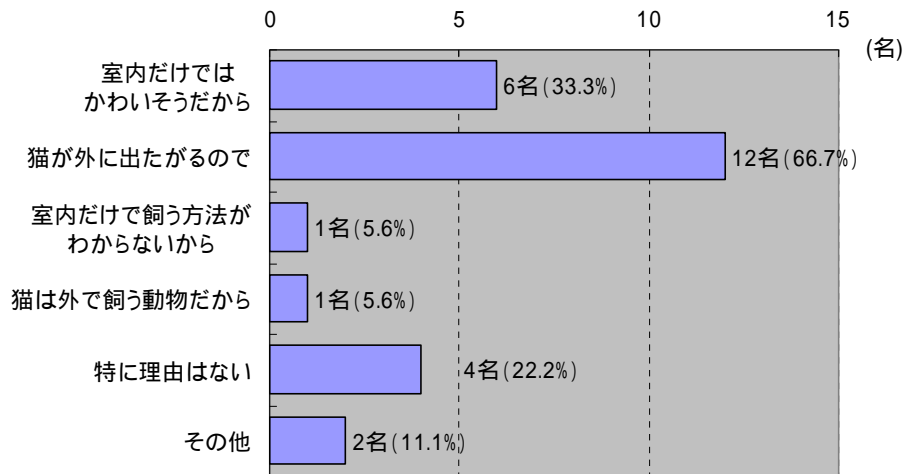


Q15 Q14で「2 主に室内で飼うようにしているが、外にも出している」、「3 室内・室外の区別なく、猫の自由にしている」に 印をつけた方にお聞きます。猫を室内で飼育しない理由はなんですか。

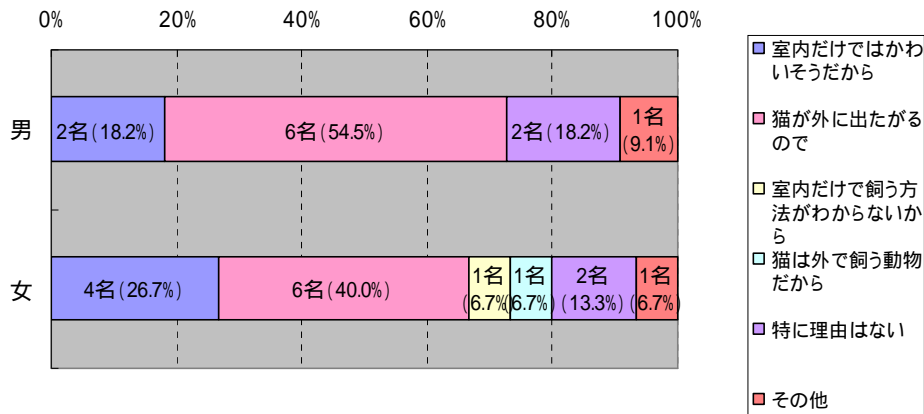
【調査結果】

- ・ 「猫が外に出たがるので」が12名(66.7%)と最も高く、「室内だけではかわいそうだから」が6名(33.3%)、「特に理由はない」が4名(22.2%)の順となっている。
- ・ 周辺環境別でみると、市街地で「室内だけではかわいそうだから」(50.0%)が高く、郊外では、「猫が外に出たがるから」(50.0%)が高くなっている。

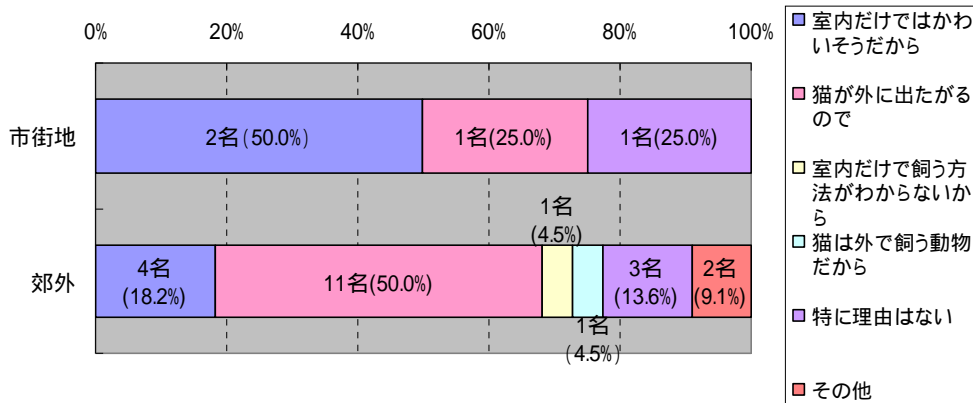
【全体】



【性別クロス集計】



【周辺環境別クロス集計】

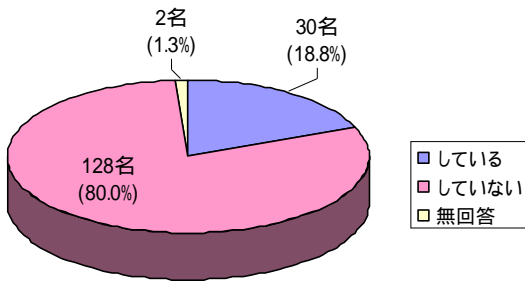


Q16 ペットを飼われている方にお聞きます。地震や水害などの災害に被災した時の為に、ペットへの対策を準備していますか。

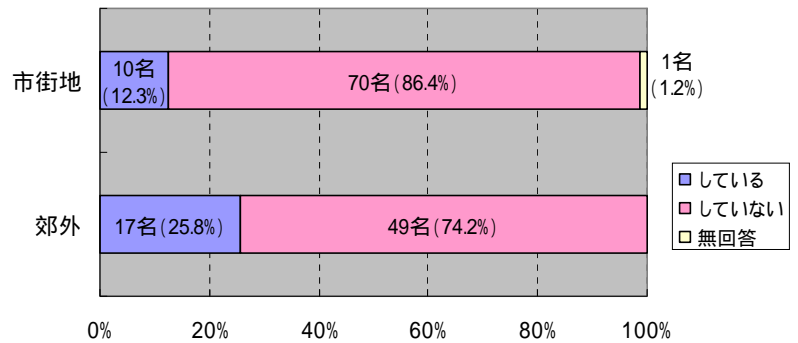
【調査結果】

- ・ 「準備をしている」が30名(18.8%)、「準備をしていない」が128名(80.0%)であった。
- ・ 周辺環境別でみると、「準備をしている」人の割合は市街地が10名(12.3%)に対し、郊外が17名(25.8%)と高くなっている。

【全体】



【周辺環境別クロス集計】

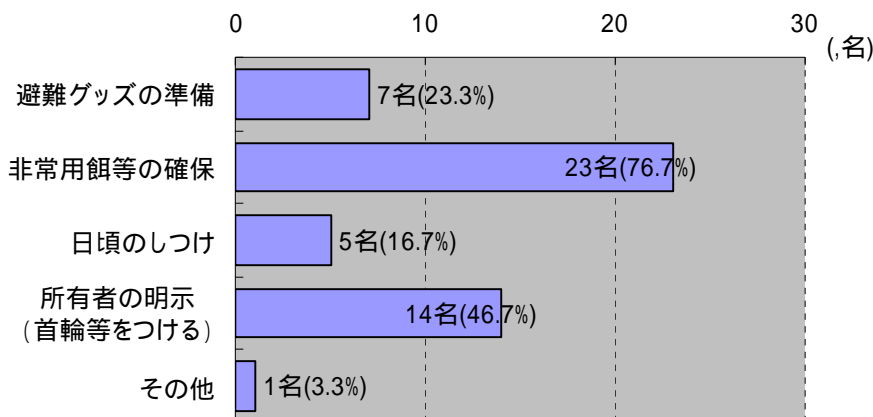


Q17 Q16で「1 している」に 印をつけた方にお聞きます。どのような準備をされていますか。

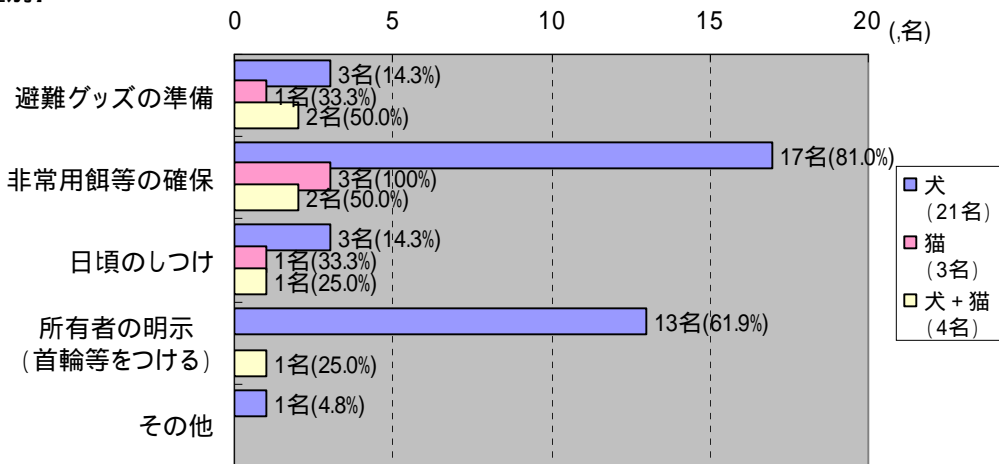
【調査結果】

- ・ 「非常用餌等の確保」が23名(76.7%)と最も高く、「所有者の明示(首輪等をつける)」が14名(46.7%)、「避難グッズの準備」が7名(23.3%)、「日頃のしつけ」が5名(16.7%)の順となっている。
- ・ 犬では「非常用餌等の確保」が17名(81.0%)、「所有者の明示(首輪等をつける)」が13名(61.9%)となっており、猫では「非常用餌等の確保」が3名(100%)であった。

【全体】



【動物種別】

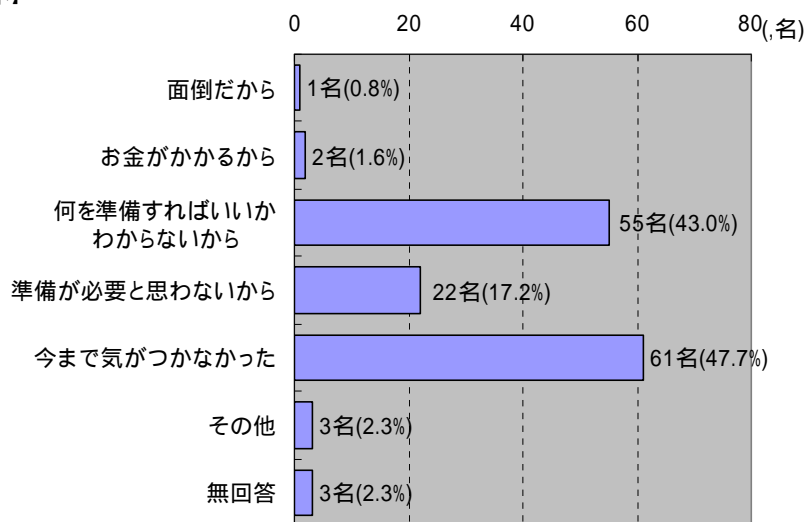


Q18 Q16で「2 していない」に 印をつけた方にお聞きます。
準備をしていない理由はなんですか。

【調査結果】

- ・ 「今まで気がつかなかった」が 61 名 (47.7%)と最も高く、「何を準備すればいいかわからないから」が 55 名 (43.0%)、「準備が必要と思わないから」が 22 名 (17.2%)の順となっている。

【全体】

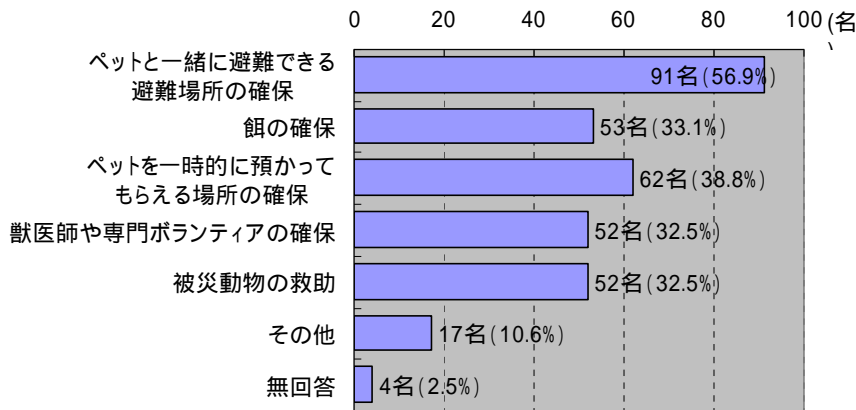


Q19 ペットを飼われている方にお聞きます。災害時にペットに関係することで行政に望むものはなんですか。

【調査結果】

- ・ 「ペットと一緒に避難できる避難場所の確保」が 91 名 (56.9%)と最も高く、「ペットを一時的に預かってもらえる場所の確保」が 62 名 (38.8%)、「餌の確保」が 53 名 (33.1%)、「獣医師や専門のボランティアの確保」と「被災動物の救助」がそれぞれ 52 名 (32.5%)の順となっている。

【全体】

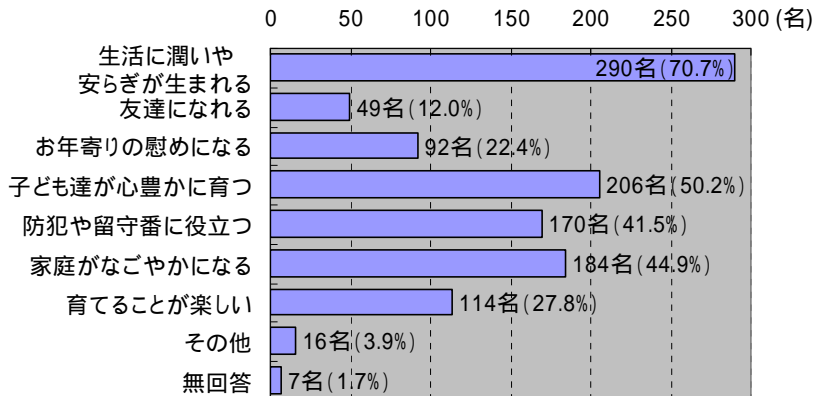


Q20 全ての方にお聞きします。ペットとして動物を飼うことについて、よいと思うことはどのようなことですか。

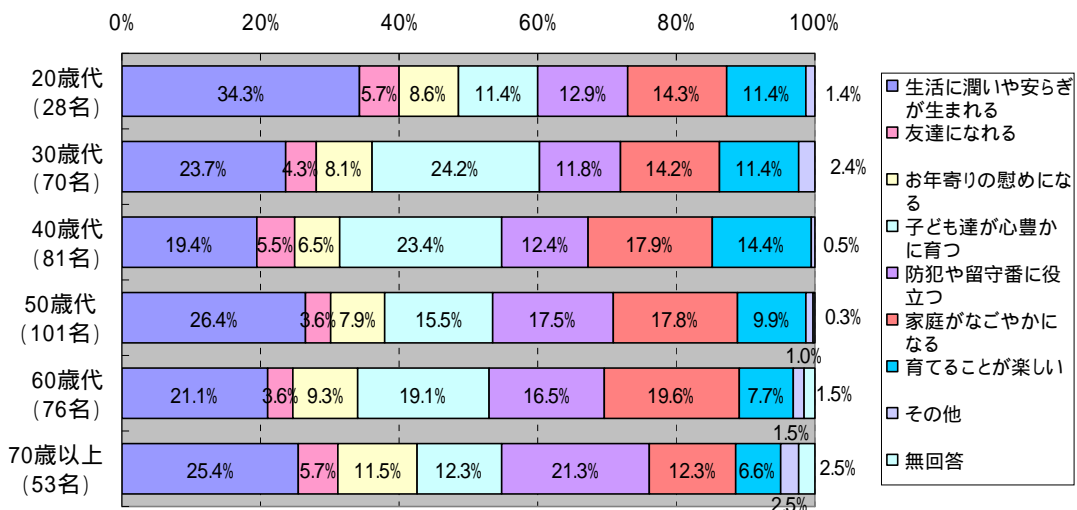
【調査結果】

- ・ 「生活に潤いや安らぎが生まれる」が290名(70.7%)と最も高く、「子ども達が心豊かに育つ」が206名(50.2%)、「家庭がなごやかになる」が184名(44.9%)、「防犯や留守番に役立つ」が170名(41.5%)の順となっている。
- ・ 年齢別にみると、20歳代で「生活に潤いや安らぎが生まれる」が高く、30歳代、40歳代で「子ども達が心豊かに育つ」が高くなっている。

【全体】



【年齢別クロス集計】

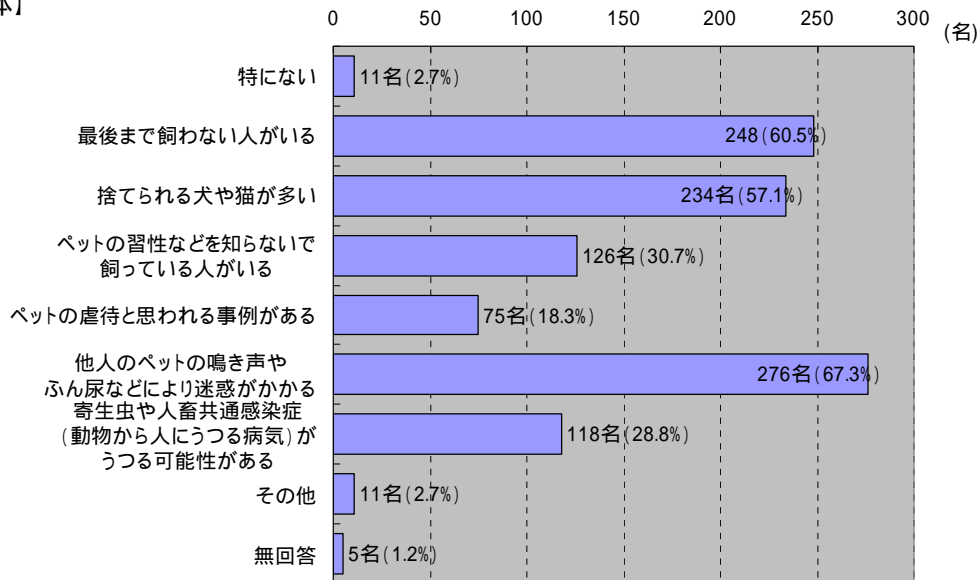


Q21 全ての方にお聞きします。ペットとして動物を飼うことで、問題が生じるとすればどのようなことだと思いますか。

【調査結果】

- ・ 「他人のペットの鳴き声やふん尿などにより迷惑がかかる」が 276 名 (67.3%) と最も高く、「最後まで飼わない人がいる」が 248 名 (60.5%)、「捨てられる犬や猫が多い」が 234 名 (57.1%) の順となっている。

【全体】

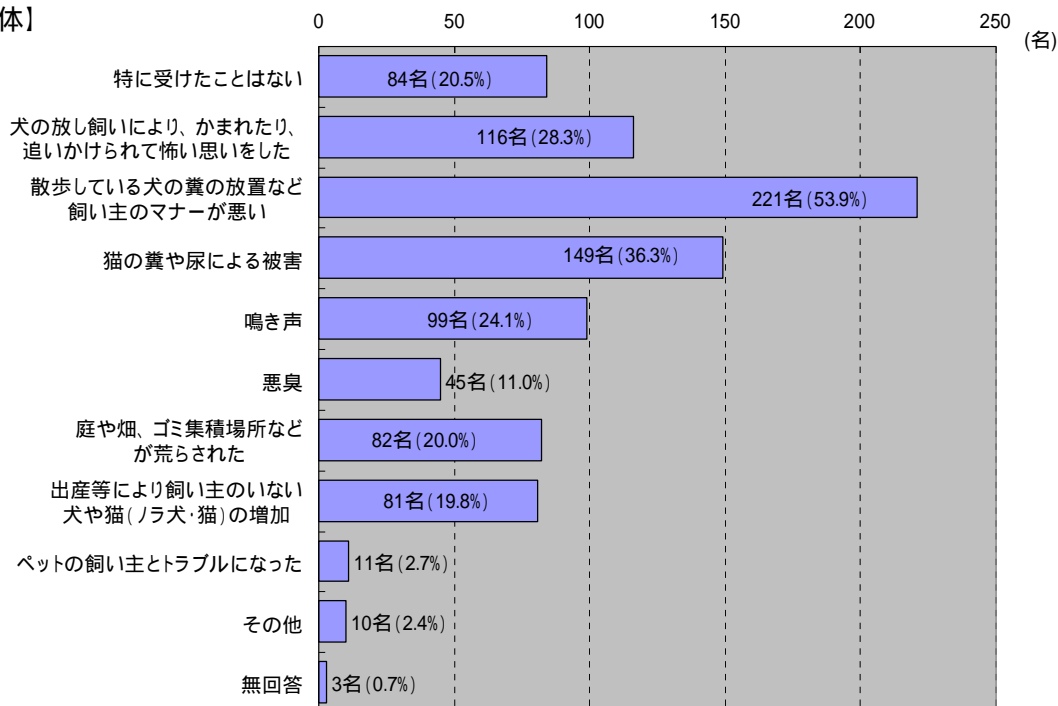


Q22 全ての方にお聞きします。あなたは、犬や猫などの動物から被害や迷惑を受けたことがありますか。

【調査結果】

- ・ 「散歩している犬の糞の放置など飼い主のマナーが悪い」が 221 名 (53.9%) と最も高く、「猫の糞や尿による被害」が 149 名 (36.3%)、「犬の放し飼いにより、かまれたり、追いかけて怖い思いをした」116 名 (28.3%)、「鳴き声」が 99 名 (24.1%) の順となっている。

【全体】

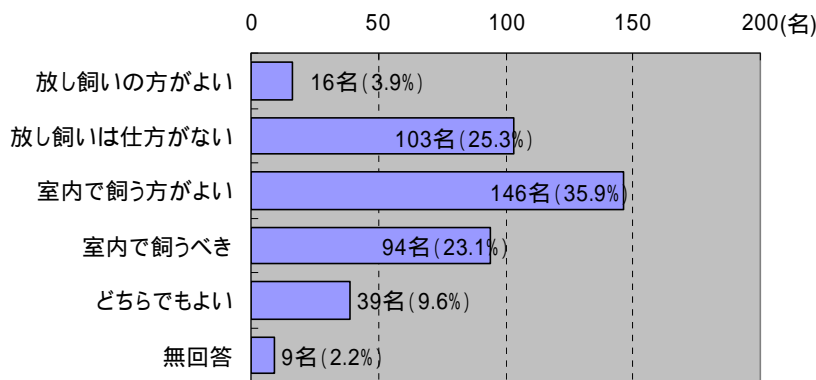


Q23 全ての方にお聞きします。猫の飼い方についてどのようにお考えになりますか。この中から1つだけあげてください。

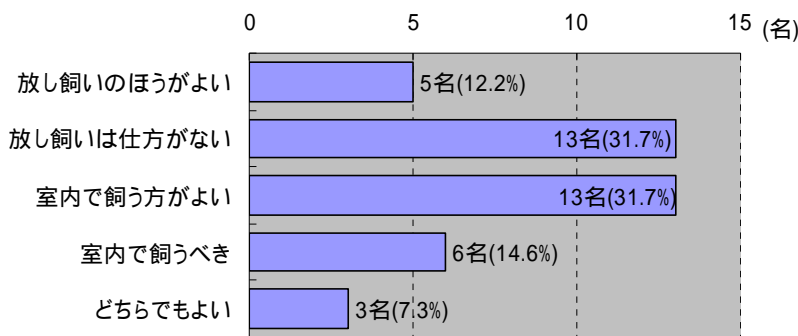
【調査結果】

- ・ 「室内で飼う方がよい」が 146 名(35.9%)と最も高く、「放し飼いは仕方がない」が 103 名(25.3%)、「室内で飼うべき」が 94 名(23.1%)、「どちらでもよい」が 39 名(9.6%)、「放し飼いのほうがよい」が 16 名(3.9%)の順となっている。
- ・ すべての人では、「室内で飼うほうがよい」及び「室内で飼うべき」と回答した人の割合は 240 名(59.0%)で、放し飼いを認める人(「放し飼いのほうがよい」+「放し飼いは仕方がない」)の割合の 119 名(29.2%)より高かった。
- ・ しかし、「猫を飼っている」人では「室内で飼うほうがよい」及び「室内で飼うべき」と回答した人の割合(19 名(46.3%))と、放し飼いを認める人(「放し飼いは仕方がない」+「放し飼いのほうがよい」)の割合(18 名(43.9%))はほぼ同数となっている。
- ・ 周辺環境別でみると、郊外に住んでいる人の方が、放し飼いを認める割合が高くなっている。

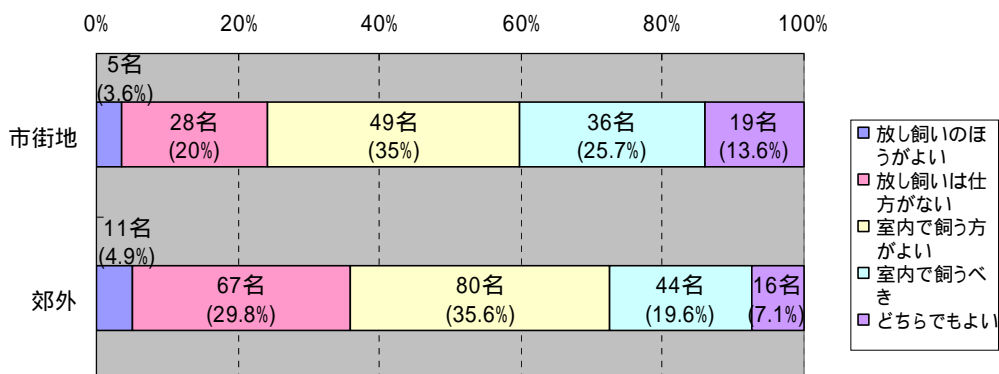
【全体】



【猫の飼い主】(n=41)



【周辺環境別クロス集計】

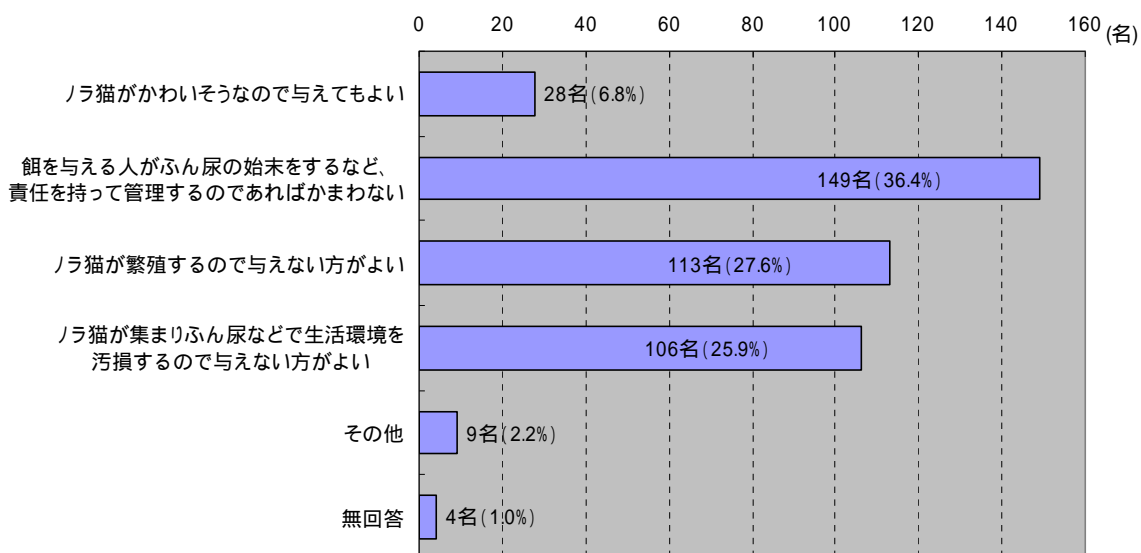


Q24 全ての方にお聞きします。飼い主のいない猫(ノラ猫)に餌を与えることについて、どのようにお考えになりますか。この中から1つだけあげてください。

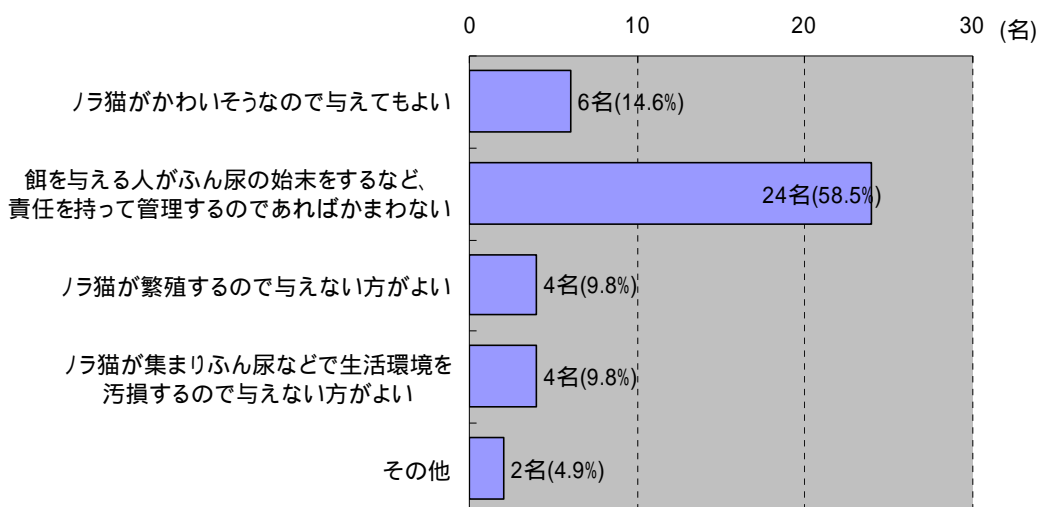
【調査結果】

- ・ 「餌を与える人がふん尿の始末をするなど、責任を持って管理するのであればかまわない」が 149 名(36.4%)で最も高く、「ノラ猫が繁殖するので与えない方がよい」が 113 名(27.6%)、「ノラ猫が集まりふん尿などで生活環境を汚損するので与えない方がよい」が 106 名(25.9%)の順であった。
- ・ 「猫を飼っている」人で見ると、「餌を与える人がふん尿の始末をするなど、責任を持って管理するのであればかまわない」が 24 名(58.5%)と全体の集計結果の約 1.6 倍となっている。
- ・ ノラ猫に餌を与えることに否定的な人[「繁殖するので与えない方がよい」+「生活環境を汚損するので与えない方がよい」]が 219 名(53.5%)となっており、ノラ猫に餌を与えることを認める人[「与えてもよい」+「責任をもって管理するのであればかまわない」]の 177 名(43.2%)を上回った。
- ・ 周辺環境別にみると、ノラ猫に餌を与えることを認める人は市街地より郊外の方が高くなっている。

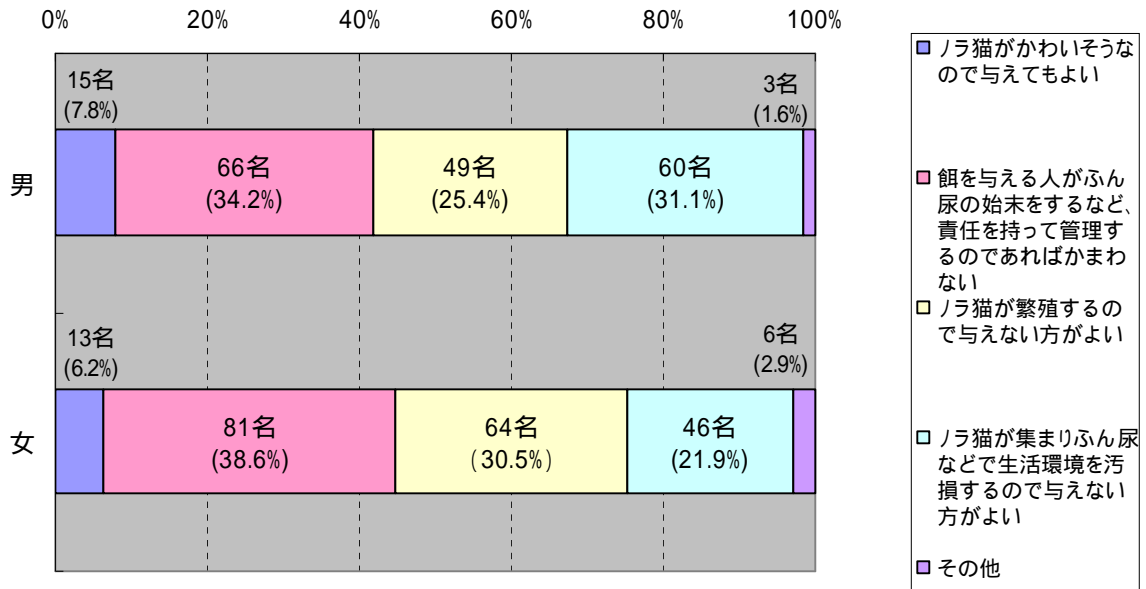
【全体】



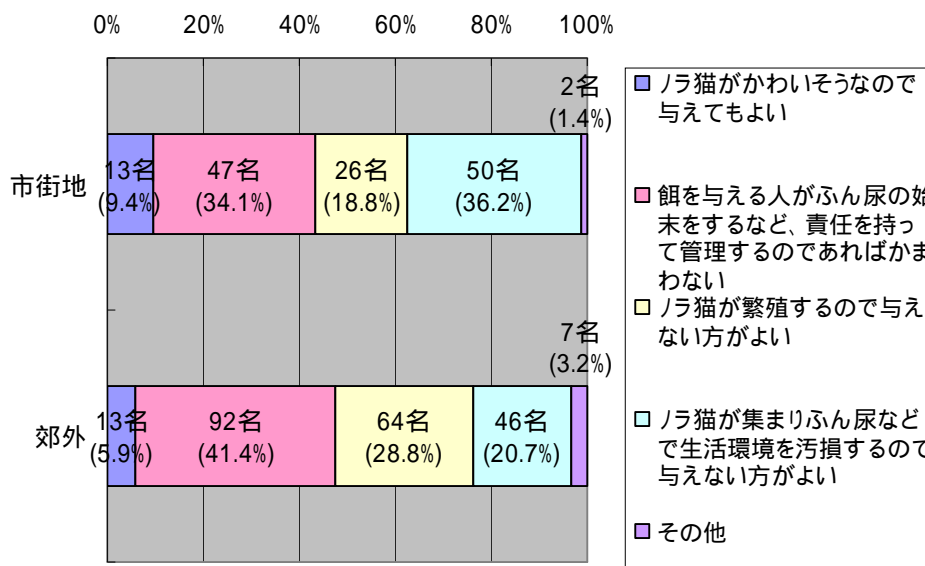
【猫の飼い主】



【性別クロス集計】



【周辺環境別クロス集計】



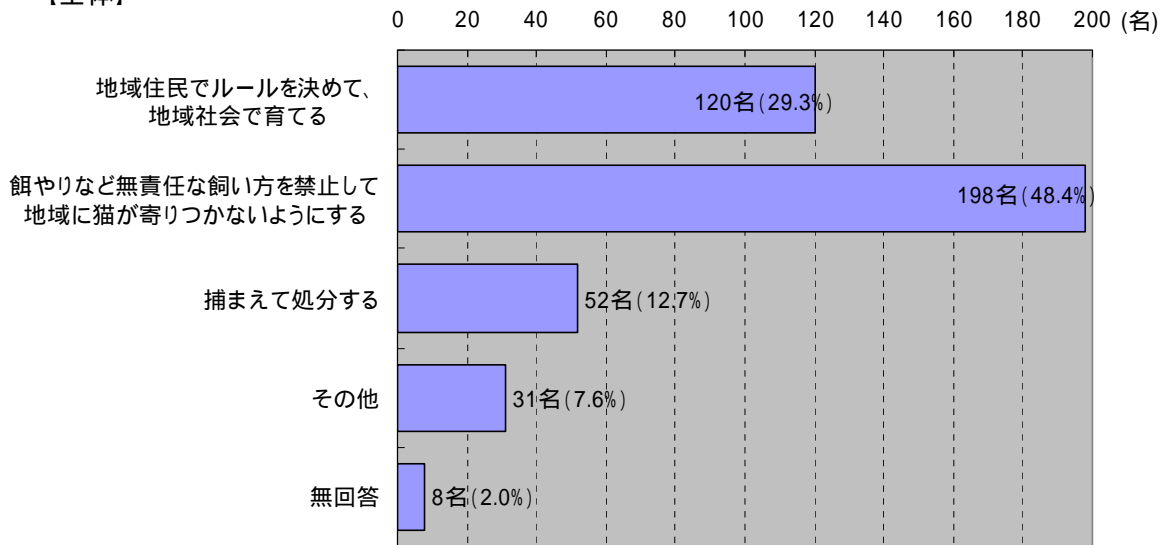
Q25 全ての方にお聞きします。飼い主のいない猫(ノラ猫)対策についてどのような方法が良いと考えますか。この中から1つだけあげてください。

【調査結果】

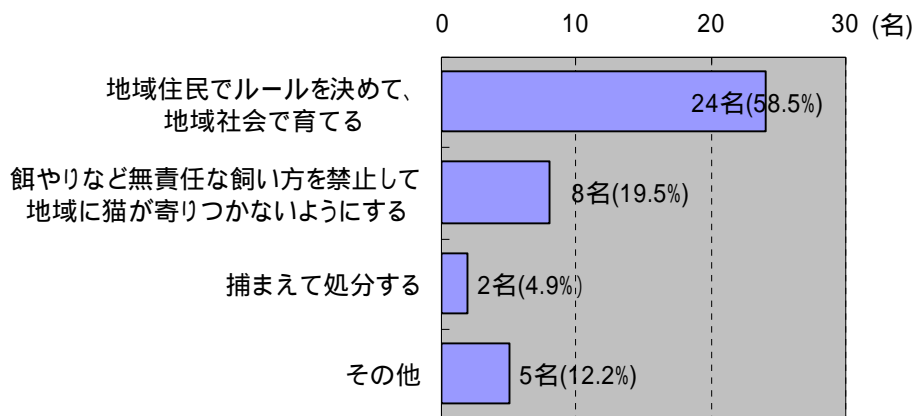
- ・ 「餌やりなど無責任な飼い方を禁止して地域に猫が寄りつかないようにする」が 198 名 (48.4%) と最も高く、「地域住民でルールを決めて、地域社会で育てる」が 120 名 (29.3%)、「捕まえて処分する」が 52 名 (12.7%) の順となっている。
- ・ 「猫を飼っている」人でみると、「地域住民でルールを決めて、地域社会で育てる」が 24 名 (58.5%) と最も高く、「餌やりなど無責任な飼い方を禁止して地域に猫が寄りつかないようにする」が 8 名 (19.5%) となっている。
- ・ 性別でみると、「捕まえて処分する」は女性より男性の方が高く、「餌やりなど無責任な飼い方を禁止して地域に猫が寄りつかないようにする」は男性より女性の方が高くなっている。

- ・ 年齢別でみると、「地域住民でルールを決めて、地域社会で育てる」は20歳代が高く、「餌やりなど無責任な飼い方を禁止して地域に猫が寄りつかないようにする」は70歳代以上で高くなっている。

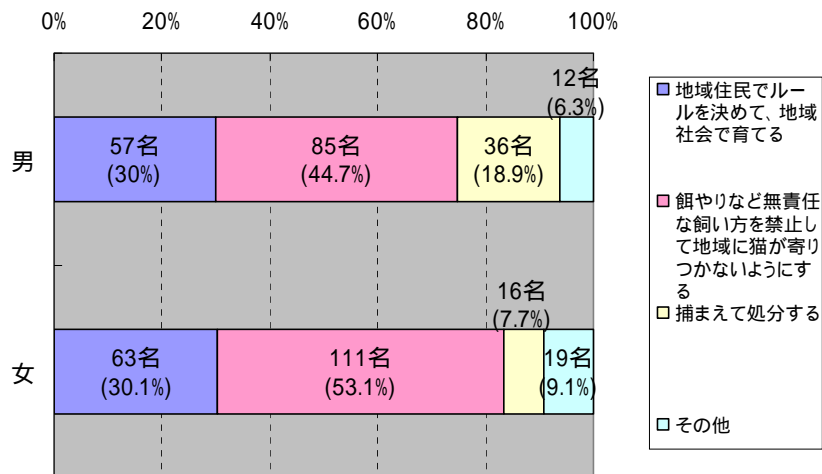
【全体】



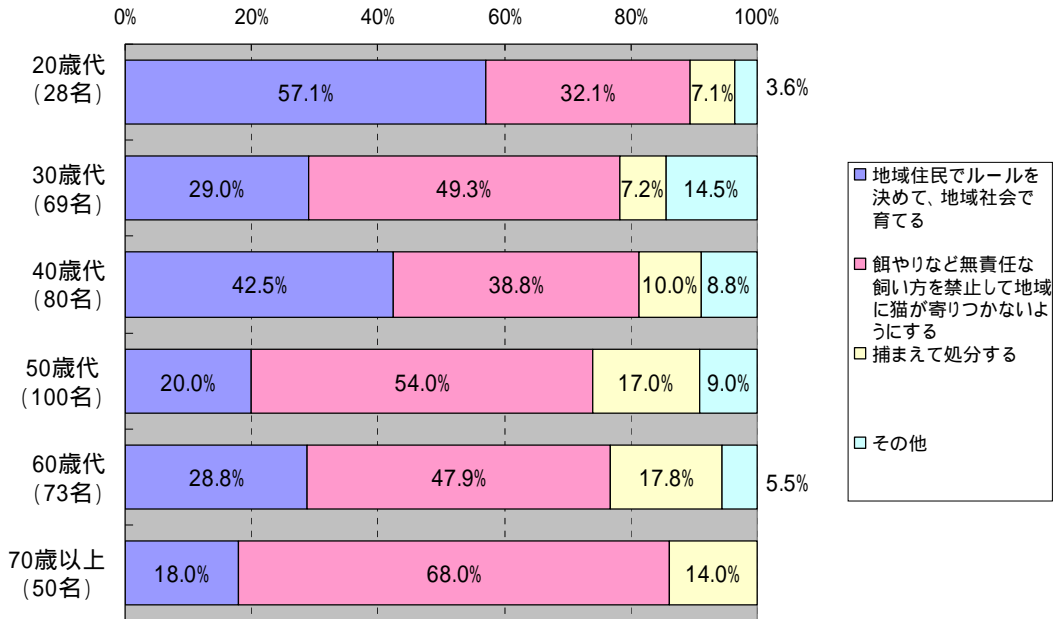
【猫の飼い主】



【性別クロス集計】



【年齢別クロス集計】

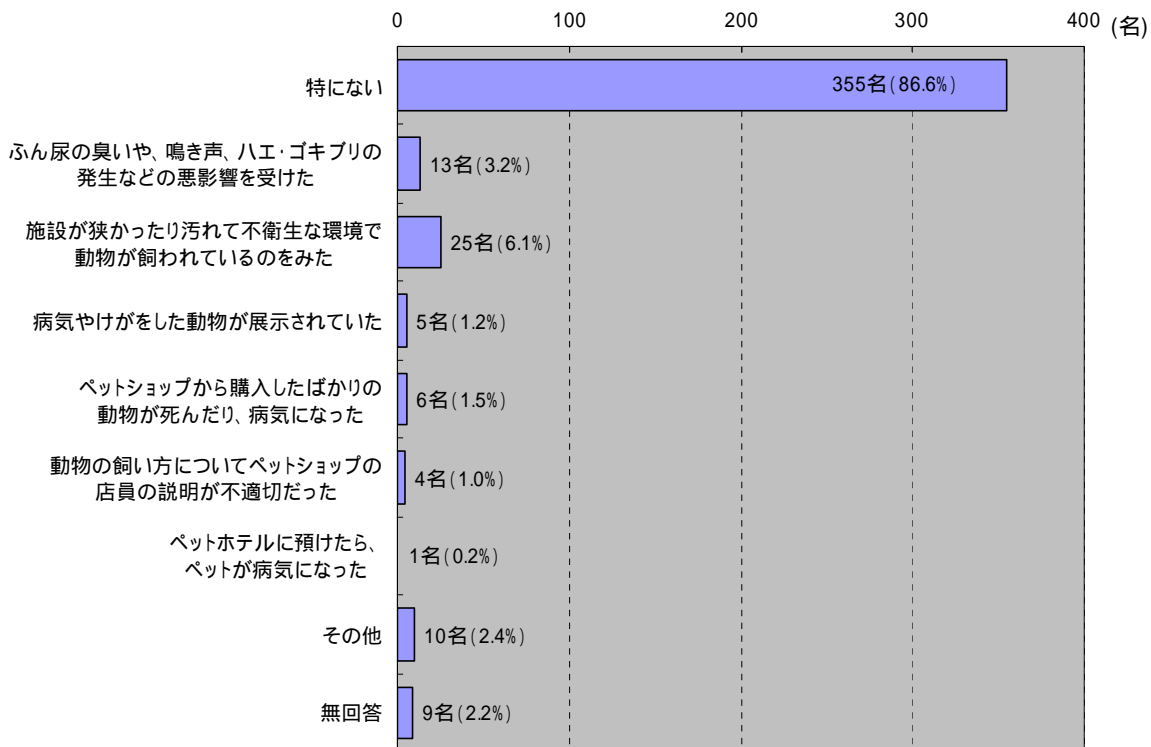


Q26 全ての方にお聞きます。ペットショップやペットホテル、動物園サーカスなど動物を取り扱う業者から、今までに被害を受けたり、トラブルや不快な思いをしたことがありましたか。

【調査結果】

- 動物を取り扱う業者からの被害やトラブルなどは、「特にない」が 355 名 (86.6%) という結果であった。

【全体】



Q27 全ての方にお聞きします。あなたは、ペットの愛護や適正な飼育の推進のために、行政が取り組むべきことは何だと思えますか。

【調査結果】

・ 「迷惑な飼い主への指導強化」が 245 名 (59.8%) と最も高く、「ペットの正しい飼い方の普及啓発」が 191 名 (46.6%)、「犬・猫の不妊・去勢の促進」が 159 名 (38.8%)、「ペットを取り扱う業者への指導強化」が 116 名 (28.3%)、「ペットへの所有者明示の促進」が 115 名 (28.0%)、「ペットの相談窓口の充実」が 101 名 (24.6%) の順となっている。

【全体】

